資料2－3

戦略的創造研究推進事業における評価システムの概要

1. 研究課題の評価の流れ

研究領域ごとに研究総括及び領域アドバイザーを選定

事前評価

研究課題及び研究代表者について、研究領域ごとに、研究総括・領域アドバイザーによる事前評価
①書類選考（2～3倍まで絞り込む）
②面接選考

毎年の評価と資源配分への反映

研究総括が、領域ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰの協力を得つつ、研究の進捗状況に応じて資源配分を調整。

中間評価

研究開始3年後を目途に、研究領域ごとに研究総括・領域アドバイザーによる中間評価（必要に応じ、外部の専門家を追加可能）
①中間報告書の査読。
②面接評価会の実施。

中間評価結果を、研究計画・研究費の配分等に反映

研究期間終了の1年程度前に、研究期間延長の希望を募り、継続研究提案書及び中間評価・その後の研究の進捗等を評価し、優れたものについては研究期間の延長を決定

事後評価

研究終了後に研究総括・領域アドバイザーによる事後評価
（必要に応じ、外部の専門家を追加可能）
①終了報告書の査読。
②面接評価会の実施。

2. H15年度の評価体制

JST本部

プログラムディレクター（６名）
（専務理事／戦略的創造事業本部長　１名）
（総括ディレクター　５名）

R&D戦略研究室

主任アナリスト（5名）
アナリスト（15名）

- 研究領域・研究総括選定等のための調査
- 研究課題の評価に係る研究総括の補佐
- 研究領域の内容、公募等に関する問い合わせ／相談への対応
- 研究領域全体の評価への対応

評価委員会（新技術審議会）

- 研究領域・研究総括の事前評価
- 研究領域の戦略目標達成状況及び研究総括の研究マネジメントについての中間・事後評価

戦略目標

研究領域　　研究領域

研究総括（1人）［全研究領域の総数：52人（H15）］

- 研究領域の課題の事前・中間・事後評価
- 評価内容・評価結果等に関する問い合わせへの対応
- 領域ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰの選任
- 評価結果の資源配分への反映
- 研究進捗状況の把握、助言等

領域ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ（6～8人）

- 研究領域の課題の事前・中間・事後評価
- 研究への助言等

研究課題　　研究課題　　研究課題

※下線はプログラム管理者の機能を担う者